

# 多焦点

## 眼内レンズのご案内

CONTINUOUS VISION

近方 中間 遠方



MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# 白内障について

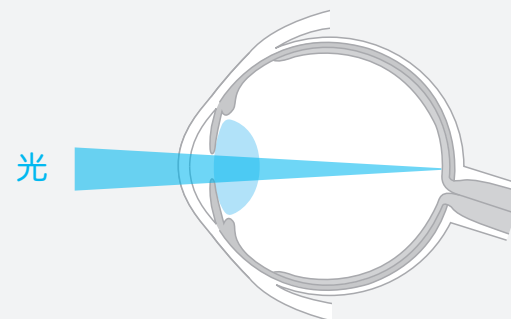
白内障は、加齢などにより目の中のレンズの役割をする水晶体が濁ってしまい次第に見えにくくなる目の病気です。白内障の多くは、加齢によっておこるため、早ければ40歳代から発症し、80歳代になるとほとんどの方に症状が現れます。

白内障は薬などで完全に予防することはできず、進行してしまった白内障の治療には、手術によって濁った水晶体を取り除き、代わりに眼内レンズを挿入します。手術手技と医療機器の進歩により、手術中の合併症や、

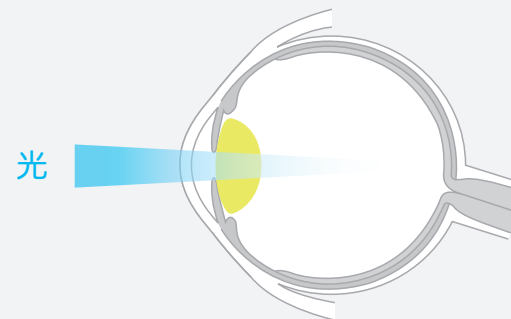
手術後の炎症の発生も少なく、安心して安全な手術として行われています。

## 白内障 になると

● ●  
正常眼



● ● ●  
白内障眼



水晶体が濁り光が届かなくなる

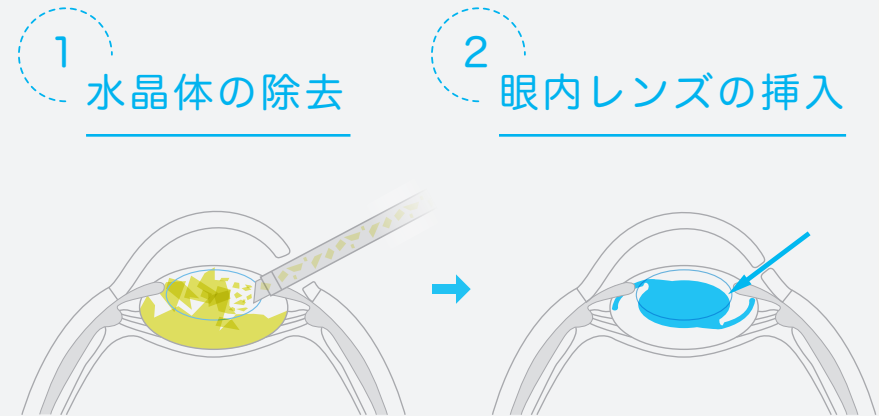
# 白内障手術について

白内障手術では、濁った水晶体を専用の手術機器で取り除き、代わりに**眼内レンズ**を挿入します。最近では、とても小さな切開から手術が可能となっているため、患者さまへの負担は少なく、場合によっては日帰り手術も可能です。

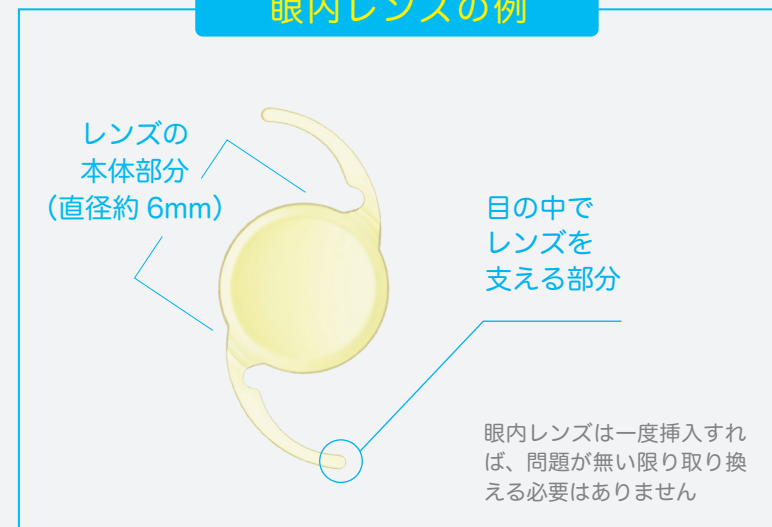
国内で白内障手術は年間100万件以上\*行われているといわれており、手術時間は目の状態にもよりますが**10~30分程度で終了**し、明るい視界を取り戻すことができます。

\*厚生労働省平成30年社会医療診療行為別統計より推計

## 白内障手術



## 眼内レンズの例

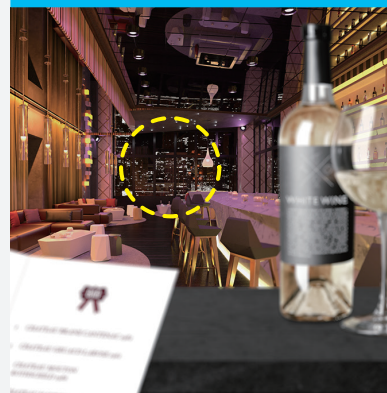


# 眼内レンズについて

白内障手術に用いる眼内レンズには遠方や近方など1カ所に焦点が合う**単焦点眼内レンズ**、複数の距離に焦点が合う多焦点眼内レンズ(2焦点・3焦点眼内レンズ)、最近では焦点を複数持つのではなく焦点の合う範囲を広げた多焦点眼内レンズ(**焦点拡張型眼内レンズ**)、さらに遠方から手元まで連続的に焦点が合う多焦点眼内レンズ(**連続焦点型眼内レンズ**)も選べるようになりました。ライフスタイルに合った眼内レンズを選択することで見え方の質が向上し、術後の生活の質も高まることが期待されます。

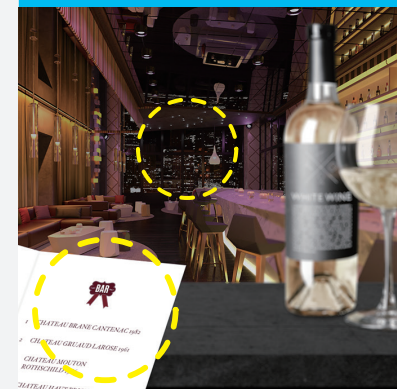
## 見え方

### 単焦点 眼内レンズ



1カ所に焦点が合う

### 2焦点 眼内レンズ



2カ所に焦点が合う

### 焦点拡張型 眼内レンズ



焦点が合う範囲が広い

### 連続焦点型 眼内レンズ

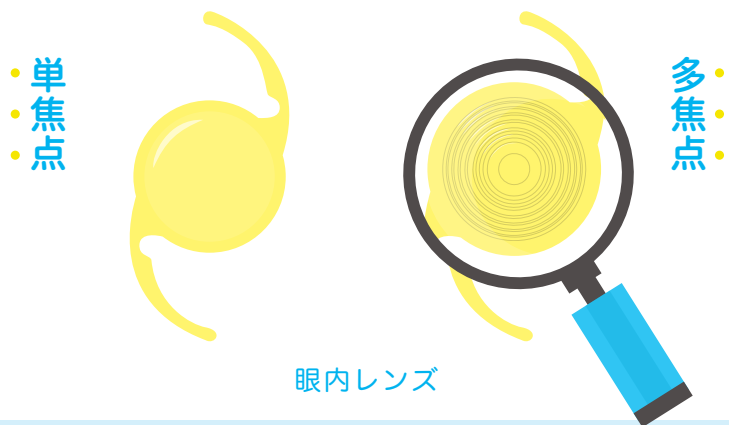


連続的に焦点が合う

注) 青色部分は連続的に焦点が合うというイメージ図です

## 単焦点 眼内レンズ

単焦点眼内レンズは、焦点が1つの眼内レンズです。眼内レンズの度数を調整することで、遠くもしくは手元など希望する1つの距離に焦点を合わせることができます。合わせた距離での視力は良好で、鮮明に見ることができますが、それ以外の距離のものを見るときは、焦点が合わず見づらくなるため眼鏡が必要となります。



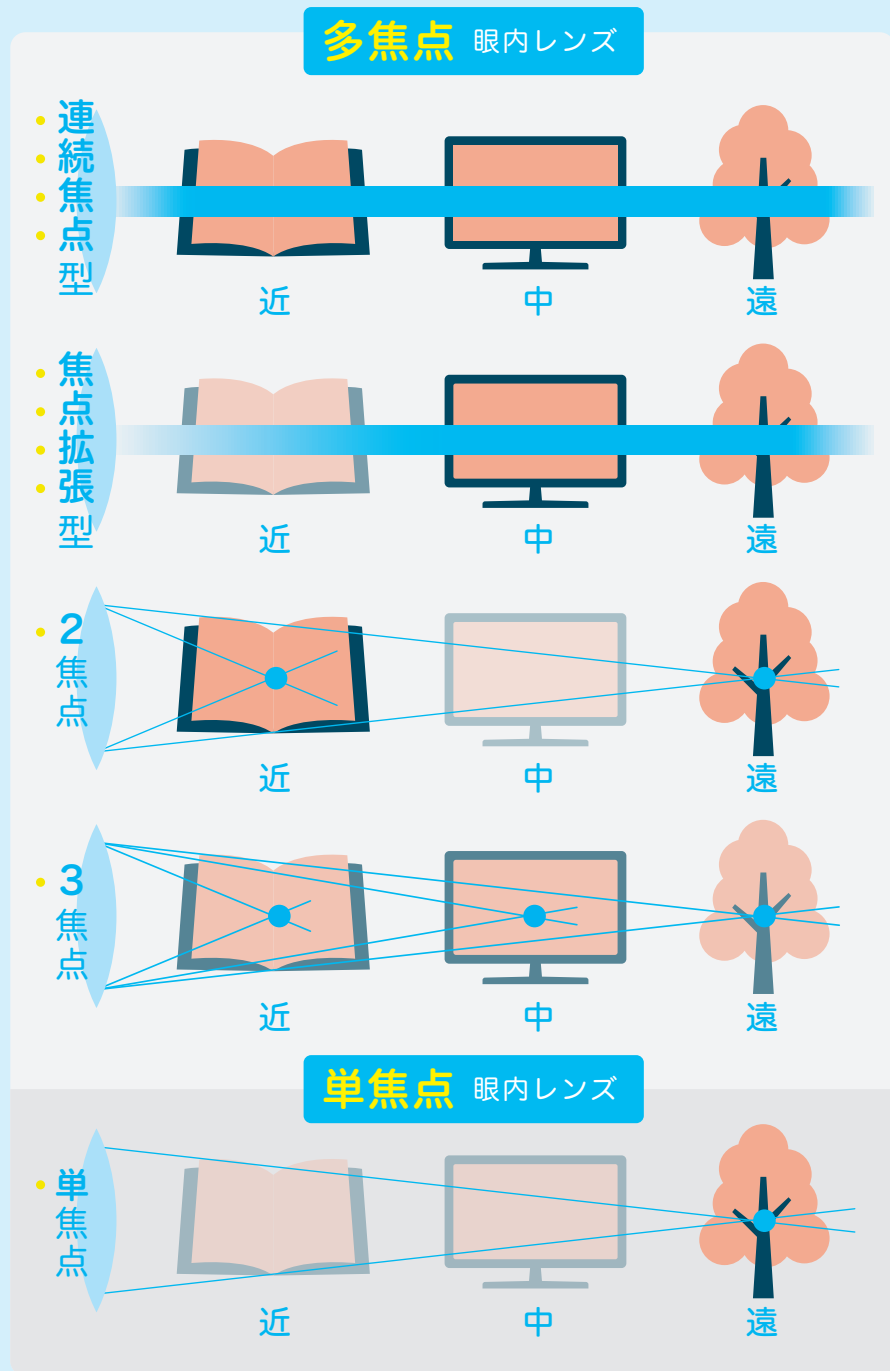
## 多焦点 眼内レンズ

多焦点眼内レンズは複数の距離に焦点が合うレンズです。2焦点の多焦点眼内レンズでは、遠くと近くの2つの距離で焦点が合います。3焦点の多焦点眼内レンズでは遠くと近くに加え中間にも焦点が合います。透過してきた光を2つの焦点、もしくは3つの焦点に振り分けるため、焦点ごとの見え方は単焦点眼内レンズに比べ低下することがあります。一方、焦点拡張型の多焦点眼内レンズは広い範囲に焦点が合うので自然で鮮明な見え方を期待できます。最近では、遠方から手元まで連続的に焦点が合う多焦点眼内レンズも

# 多焦点 眼内レンズ

出てきており希望する見え方やライフスタイルに合わせて眼内レンズを選ぶことの重要性は高まっています。

どの種類の多焦点眼内レンズでも、若いころのようにどの距離でも焦点を合わせられるわけではありません。眼鏡をかけても良いという方は単焦点眼内レンズのほうが良い場合もあります。眼内レンズにはメリットとデメリットがありますのでレンズの特徴を理解して術後の生活に合った眼内レンズを選択しましょう。



# 多焦点眼内レンズの 注意点

多焦点眼内レンズでは、見え方に慣れるのに時間がかかる場合があります。また、視力は出ていてもすっきり見えないこと（**コントラスト感度の低下**）があったり、夜に照明灯などの光を見るとまぶしく見える「**グレア**」や、光の周りに輪が見える「**ハロー**」、光源から散ったような光が見える「**スターバースト**」などを感じることもあります。時間の経過とともに軽快し、気にならなくなる方も多いですが、まれに慣れない方もいるため主治医とよく相談しましょう。

## 見え方

### コントラスト感度



低い

高い

### グレア・ハロー



有

無

## 多焦点眼内レンズを使用する 白内障手術の選定療養

単焦点眼内レンズを使用する白内障手術は保険診療で行われますが、術後の眼鏡装用率の軽減を目的とした多焦点眼内レンズを使用する白内障手術は、厚生労働省が定める選定療養の対象となっています。選定療養とは、患者さんご自身が選択して受ける追加的な医療サービスです。通常のかataract手術に含まれる範囲は保険診療で行われ、多焦点眼内レンズに係る追加の費用は自己負担となります。

### 多焦点眼内レンズを使用する白内障手術の費用

白内障手術の費用 + 多焦点眼内レンズに係る費用

医療保険で給付

選定療養（自己負担）

## 最後に

白内障手術は手術手技や機器の進歩により、安全性の高い手術として認知されています。ライフスタイルに合った眼内レンズを選ぶことで、見え方の質は向上します。しかし、眼内レンズは必ずしも万能なレンズではないため、慎重に選ばなければなりません。ライフスタイルやどのような見え方を希望するかを主治医に伝え、ご家族ともよく相談して、目の状態と術後の生活に適した眼内レンズを選択されることをおすすめします。